

令和3年度

学校教育目標・学校経営の基本方針ならびに努力点

小山市立間々田中学校

I 学校教育目標

合い言葉『一生懸命』

目指す子ども像 ↓

- 「優しく」 思いやり助け合う生徒
- 「賢く」 主体的に学ぶ生徒
- 「逞しく」 根気強く健やかな生徒

II 学校経営の方針

- 0 基底的な指導の徹底による基本的な生活習慣の形成
- 1 主体的に学びに向かう集団づくり →個と集団相互の成長から
- 2 主体的に学習に向かう授業づくり →確かな学力をめざして
- 3 主体的に学ぶ力づくり →なすことによって学ぶ力づくり
- 4 地域とともにある学校づくり →保護者・地域の理解、小中連携から

キーワード： 「生徒と教職員が夢や希望を語り合える学校づくり」

「育てる」： 徹底、発意・挑戦、協働、役割、感謝

III 学校経営の具体策

0 基底的な指導の徹底から「基本的な生活習慣の形成」

- (1) 「安全で安心な学校づくり」
 - ①安全管理・安全教育・生活指導・適応指導の指導体制確立
 - ②生活の安全、交通安全、防災に関する正しい判断力の育成
 - ア：交通安全指導の徹底
 - イ：防災教育（避難訓練、防災授業等）
 - ウ：新生活様式の定着
- (2) 基本的な生活習慣の形成
 - ★①あいさつ ②言葉遣い ③礼儀 ④服装・身なり ⑤時間 ⑥提出物 ⑦外遊びの奨励
 - ア：学級、学年、関係委員会等の創意工夫による「共遊」
 - イ：ロング昼休みの工夫と有効活用（「過ごし方」を考えさせる指導）
 - ⑧「好ましい」朝の読書活動の推進と指導の徹底
- (3) 「本校ならではの教育課程編成」
 - ①教職員の創意工夫・全教職員共通理解・目的と手段、目的と目標の明確な区別
 - ア：教職員全員が参画意識を持つ
 - イ：各計画の目的を明確に示す
 - ②教育課程（行事など）と部活動の連動により「体力」「忍耐力」「責任感」の育成

1 個と集団相互の成長から、主体的に学びに向かう集団づくり

【自分で考え、判断し、表現する力の育成】

優しく 《子どもの笑顔があるれる学校》 ←市教委 資質能力三本柱↑

～個の成長と集団の成長の相互作用から、主体的に学ぶ集団を育成する～

キーワード：「尊重しあい（おもいやり）」「協力しあい（助け合い）」「自主性・主体性」

- (1) 「間中しぐさ」の全面展開
- (2) 心を通わせる「あいさつ運動」
 - ①★アイコンタクト、場に応じたあいさつ
 - ②「受けたものを返す指導」の推進（あいさつ、返事、感謝の気持ち等）
- (3) 心に響く「特別の教科 道徳」（「道徳科」）の推進
 - ① 道徳の授業年間35時間完全実施
 - ② ◇道徳の授業力向上 例1：授業相互参観 例2：授業ローテーション
- (4) 創意工夫ある学級経営 ～互いの良さが発揮でき、認め合える学級づくり～
- (5) ★いじめをしない・させない、許さない学級・学年・学校風土と豊かな人間関係の醸成
 - ① いじめ防止強調週間
 - ② 生徒主体のいじめ防止集会

- ③ 集会や各学級等での啓発的指導 ④ いじめの早期発見への取組（定期アンケート、教育相談等）
- (6) 「3そう」（無言清掃、正しい服装、黙想）の徹底による心を磨く清掃活動
- (7) 居がいのある学級・学校環境、特に「正しい言語環境」の整備
 - ① ★「間中しぐさ」の普及と浸透 ② 暴言等の不適切な言動（指導）の一扫
 - ③ 人権強調週間 ④ 生徒・教職員の人権感覚点検
- (8) 学ぶ意義の理解と自己の生き方の自覚を促す体験（的）活動の工夫改善とその充実
 - ① 系統的なキャリア教育（進路指導）
 - ② 教科等の指導におけるキャリア教育
 - 社会的、職業的自立に必要なになる基盤となる能力や態度の育成
 - ③ 啓発的体験活動の実施 → 職場見学、職場体験学習、高校一日体験学習など

2 確かな学力を育むための主体的に学習に向かう授業づくり

【知識・技能の習得】



《子どもの瞳が輝く学校》 ←市教委

～自ら学び、考え、判断し、表現できる間中生を育成する～

- (1) 「分かる、できる、定着する授業」づくりを通じた確かな学力の育成。
 - ① 一人一研究授業の実施と授業研究会の充実
 - ★② 本時のねらいの提示内容の工夫、振り返りの活動の工夫
 - ③ 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得(全教科領域)させるための指導法の工夫改善
 - ④ 言語活動を効果的に取り入れた思考力・判断力・表現力等育成のための取組
 - 発表、討論、観察・実験やレポートの作成、論述などの学習活動の充実
- (2) 授業を支える学習習慣づくり→自ら学ぶ意欲の向上を目指した取組の推進
 - ① マンデースクール ② 基礎学力充実週間 ③ 放課後学習会
 - ④ 講座学習会（11月～） ⑤ 各教科の意図的・計画的課題、週末課題等の提示
- (3) 定期テストへの取り組み充実
 - ① 計画表を活用したきめ細かな指導と家庭との連携
 - ② やる気になる出題範囲表の工夫
 - ③ 三割問題の工夫

3 なすことによって学ぶ力、主体的に学ぶ力づくり

【学びに向かう力、人間性の涵養】



《元気なあいさつが響く学校》 ←市教委

～実践（なすこと）を通して心を耕し、心に汗をかかせ、しなやかで強い心情を育む～

- (1) 学級をはじめとする集団指導の充実 → 「実践的社会性」を備えた間中生を育成する。
 - ★① 「道徳科」を道徳教育の要として、道徳的行為や習慣の実践を目指す。
 - ★② 「特別活動」等を通して、様々な集団活動や体験活動等の充実を図る。
- (2) 「自らの手で学級・学校生活を創る力」を育てる特別活動の推進
 - ① ★学級活動の授業の充実
プログラム委員の育成 ◇授業研究 ◇自主授業公開等
 - ② 生徒が創る生徒会活動（学級、委員会との連携も含む）の充実
 - ③ 学年・学校行事の改善充実から協働、役割、感謝の心を醸成
- (3) 「集会指導」を通して集団を育てる。
 - ① 全校集会、学年集会、生徒集会の充実
 - ② 行動様式の統一により、能率的、機能的、効果的な集会指導
- (4) 生涯を通して、健康で安全な生活を送るために必要な資質能力と体力を身に付けさせる
 - ① 保健体育の授業を核とした心と体づくりの推進
 - ア：運動量を確保した保健体育の授業づくり
 - イ：保健体育の授業と部活動指導の連携・連動
 - ② 勝つことを目標とし、生徒の成長を目的とした部活動経営
 - ア：各部における「生徒主体の運営」の実践→部長会議によるリーダー育成
 - イ：部活動顧問会議における「部活動運営」に関する指導者の資質向上、情報交換

4 保護者・地域の理解、小中連携から、地域とともにある学校づくり

- (1) 「間中ブロック小中一貫教育の推進」
 - ① 教育課程上のつながりを重視した指導と交流活動に重点を置く小中一貫教育の推進
ア：あいさつ運動 イ：ふれあい学習 ウ：絵画教室 エ：職員交流・研修
- (2) 「生徒・保護者・地域の期待に応えられる学校づくり」
 - ① 地域の行事に積極的に参加 ア：ジャガマイタ祭り イ：間々田支部体育祭
 - ② 職場体験学習での交流

間中しぐさ

- | | | | |
|---|---------|----------|----------------------|
| 1 | あいさつしぐさ | 図を見てあいさつ | おはよう・ごめんね・ありがとう |
| 2 | 挑戦しぐさ | 発意・挑戦 | Let's begin |
| 3 | 先読みしぐさ | 整理整頓 | よい準備 |
| 4 | めりはりしぐさ | ABC | 当たり前のことをバカになってちゃんとやる |
| 5 | 思いやりしぐさ | さしのべよう | 相手の気持ちを大切に |

H30.4 間々田中学校生徒会（H29 年度、全生徒による意見から集約）